

## 令和5年第7回浅口市教育委員会議事録

1. 招集日時 令和5年7月18日（火）
2. 場 所 浅口市中央公民館第3会議室
3. 開 会 午後2時00分
4. 閉 会 午後2時50分
5. 出席者 中野留美 高戸崇 藤澤弘幸 佐藤賢次 吉田英子
6. 説明のために出席した者の氏名  
教育次長 難波勝敏 教育総務課長 瀬良昌弘  
学校教育課長 池田一成 保育未来課長 笠原清美  
ひとづくり推進課長 田中有正 金光分室長 中嶋利恵  
寄島分室長 山本峯廣 学校給食センター所長 安原直子  
教育総務課 平井恵美子（事務局）
7. 傍聴人 なし
8. 議 事

### 日程4 議案第39号 小学校教科用図書の採択について (教育長)

資料により説明。

本日、7月18日の午前中に倉敷地区教科用図書採択市町教育委員会協議会が開催され、令和6年度使用小学校教科用図書選定理由の報告を受けた。これを受け、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第1項第6号の規定により最終的に倉敷地区内の5市町（倉敷市、総社市、浅口市、早島町、里庄町）での合同採択に向けて、各教育委員会にて採択をする必要がある。浅口市教育委員会として協議会と同一の教科書を採択するか協議するものである。選定の経過としては、4月26日に第1回倉敷地区教科用図書採択市町教育委員会協議会を開催し、一般の方や教員向け教科書展示会を行

い、選定委員会及び研究委員会を複数回持ち、答申案を作成し、第2回倉敷地区教科用図書採択市町教育委員会協議会にて報告を受けた。令和6年度使用小学校教科用図書選定理由の報告は、各教科全てにおいて、この教科書は採択地区児童全体の使用に極めて適している、と意見のあった教科書を採択し、国語は光村、書写は東書、社会は日文、地図は帝国、算数と理科は東書、生活は教出、音楽は教芸、図工は日文、家庭科は開隆堂、保健は東書、英語は三省堂、道徳は東書が選定された。前回から発行者が変わった教科は図工と英語である。図工は日文が選定されており、選定理由は学習のめあてが3観点5項目で示され、特に重要なめあてのポイントに表現ヒントや鑑賞ヒントが示されている。巻末に材料と用具の引き出しが設けられ、説明場面に応じて写真や図を使い分けて示されている上、2学年ごとに培った資質・能力を児童が考えることができるようになっている。落ち着いた背景色で、過度な刺激が抑えられており、特別支援教育の観点からも配慮されており、いつでもより深く考えることができるようQRコードに分類名がつけられている。英語は三省堂が選定されており、選定理由は「HOP」でUnitの学習を見直し、「STEP」で語句や表現を学習し、「JUMP」で今までに学習した表現や語句にもう一度立ち返り、それらを使って自分のことを表現することで学習の定着を確実に図ることができるようにたいへんよく工夫されている。教科書下段に「Sounds Chant」や「Word Chant」等が配置され、別冊「My Dictionary」の関連するページが示されており、音とイラストを結び付けて学習したり、QRコードから速度を自分で変えながら音声を聞いたり、モデル動画を見たりすることで、話す・聞く活動に主体的に取り組むことができ、個別最適な学びや協働的な学びができるようたいへんよく創意工夫されている。

(教育委員)

現状と変更のある科目において、より適している特徴等の説明が選定委員よりあった。一般の方からの意見も含め、研究委員会で研究を重ね、審議し、極めて適しているという選定理由の報告となった。

(教育長)

質問はあるか。

(教育委員)

報道では、教科書が変わると言うことで、QRコードが入り、子どもたちが勉強するのに教科書以上に深い資料として使えるということだった。先ほどの説明や資料にもQRコードのことの記載があるが、社会等は資料にQRコードの記載がないが、QRコード入りか。

(教育長)

入っている。

(教育委員)

QRコードで、英語は速度を変えられたり、家庭科は実習に役立つワンポイント、理科は実験的な部分で、全体的に教科書は薄くなってきており、発展的な部分をQRコードで対応している。1人1台端末だが、QRコードを見ておかないと勉強できないということにならないようにしてほしい。

(教育長)

教科書の使い方は教師の力量による部分もあるが、必要な情報は入っている。

(教育委員)

教科書はかなり薄くなったという印象は受ける。タブレット中心で時代に合ったやり方になればと思うが、まだ教科書は残るんだなと思った。タブレットを並行活用して子どもたちの負担にならないようにすること。教科書を実際に目で見ること大切だと考えるし、めくって見返すのが一番早いということもある。教科書は、絵や写真が入り、カラーで大変見やすい。

(教育委員)

図工については、日文が選定された理由としては、3観点5項目という細かいめあてが示されている点が、分かりやすいと評価された。また、特別支援教育にも配慮している点が評価された。

(教育委員)

英語は、開隆堂から三省堂に変わった理由としては、不具合があったというのではなく、より適しているということか。

(教育長)

そうである。1つの単元の中に「HOP」「STEP」「JUMP」で構成されているので分かりやすく、教員も指導しやすいという理

由であった。

(教育委員)

ある学年を境に変わることになるが、出版社が変わることによって大きく流れ的なことで変わることがあるか。

(教育長)

学習指導要領があるので、学習内容は決まっている。それをどうやって分かりやすく表現しているかということになる。教科書が変わって困ることはない。

(教育委員)

何冊の中から選定しているのか。

(教育長)

教科によって違うが、一番多い英語は6社から選定している。

(教育委員)

全国の学校でそれぞれ満遍なく選ばれているのか。1社に偏っているようなことはあるか。

(教育長)

教科によって多く使用されているというようなことはあると思う。

(教育委員)

2学年で使うことはあるか。

(教育長)

2学年1つの教科書ということはある。

令和6年度使用小学校教科用図書を選定は、浅口市は倉敷地区教科用図書採択市町教育委員会協議会と同一の教科書を採択することに決する。

(承認)